

島 本 町

～ J R 島本駅開業を契機に～

新しいまちづくりの核と タウンセールス・プロジェクトの取組

「電車がまいります…♪ドンドンディドン…」

3月15日、島本町に J R 島本駅が開業しました。当日の開業式典には冬柴国土交通大臣、橋下大阪府知事をはじめ、多数の来賓の方々にご臨席いただきました。また、オープニングイベントでは、島本駅記念入場券や町の名製品の販売、コンサートなどが行われ、鉄道ファンをはじめ、町内外からの多くの人で賑わいました。また、島本駅構内の列車接近警告音には、サントリーオールドの CM でおなじみのメロディ「人間みな兄弟～夜がくる」が、採用されました。

島本駅開業記念式典



オープニングイベント



背景

島本駅は、本町が昭和36年から約半世紀にわたり要望を行ってきた念願の駅で、平成15年、J R 西日本と駅設置に係る基本協定を締結しました。駅周辺の整備も合わせて、総事業費は約42億円で、うち本町の負担額は約17億円となっています。駅舎は橋上式で、本町の山並みをイメージした三角屋根のデザインになっています。

駅前広場のすぐ横には、楠木正成と正行の父子訣別の地で有名な国指定「史跡桜井駅跡」があります。また、町内には、環境省の名水百選に大阪府内で唯一選ばれた「離宮の水」や、日本のウイスキー発祥の地であるサントリー山崎蒸溜所があります。

このように本町は、水と緑に恵まれた歴史あるまちですが、全国的にはもちろんのこと、大阪府内においても知名度はあまり高くありません。北摂の端に位置するということや、島本町が自治体名であるということもご存じない方がたくさんいらっしゃいます。

全国的に少子高齢化が進展し、人口が減少している中で、本町も同様の傾向が見られます。また、町内の商店もあまり活気がないというのが現状です。



人口減少の歯止め、まちの活性化を図るため、集客力の向上と人口増加が喫緊の課題となっています。

本町では、この島本駅の開業を契機として、本町の魅力を積極的にPRし、多くの人に広く知っていただくという取組みとして、「島本町タウンセールス・プロジェクト」を推進しています。

プロジェクトの取組

島本町タウンセールス・プロジェクトチームは、平成19年2月に有志の若手中心の職員と、商工会青年部のメンバーで結成しました。チームでは、島本町の魅力や不足しているものなどについて議論を交わし、町をPRするための取組みについて様々な施策の計画立案を行いました。

平成19年度、プロジェクトチームが提案を行った事業から、「島本駅オープニングイベント」「島本駅オリジナル接近警告音の要望」を実施しました。

「島本駅オープニングイベント」は、開業時、町外からたくさんの方が来られるまたとない機会であることを利用して、名産品の販売や展示ブースの出版、案内ボランティアによる史跡の紹介など、島本町の魅力を伝えるPR活動を行いました。このオープニングイベントは、島本町商工会、島本町自治会長連絡協議会、島本ライオンズクラブ、島本町住民委員会、青葉会（町内企業による組織）、大阪府茨木土木事務所、島本町で組織する「しまもと賑わいづくり協議会」が実行委員会を設立し、住民のみなさんが主体となって実施しました。

また、「島本駅オリジナル接近警告音」は、駅利用者に対して、日本のウイスキーのふるさと・名水のまちをPRすることを目的とし、テレビのCMで40年間にわたって使用されている曲、小林亜星さんの「人間みな兄弟～夜がくる」をJR西日本に要望し、採用されました。

今後の展開

さらに、4月12日には島本駅前広場前に島本町立歴史文化資料館が開館しました。昭和16年に建てられた「麗天館」という講堂を一部改修し、今後は、資料の展示や講演会の開催など幅広く活用していきます。

大阪駅まで23分、京都駅まで16分という利便性の高いまち、水と緑に恵まれた自然の豊かなまちとして、島本町の魅力を広く知っていただき、島本町に訪れる方、住んでいただける方が増えることを期待しています。

駅の開業と歴史文化資料館の開館を契機に、今後は、これらの施設を魅力あるまちづくりの新しい核として、積極的に活用し、タウンセールスの取組みを推進していきたいと考えています。是非、みなさんも一度、島本町に足をお運びください！

島本町立歴史文化資料館

